

NEWS RELEASE

報道資料

2008年6月3日

(日本時間)

アプライド マテリアルズ アブダビの「マスダル」計画から
年産 210 メガワット規模の太陽電池製造ラインを受注

アプライド マテリアルズ (Applied Materials, Inc., Nasdaq: AMAT、本社: 米国カリフォルニア州サンタクララ、社長兼 CEO マイケル・スプリンター) は 5 月 30 日 (現地時間)、アラブ首長国連邦のアブダビ・フューチャー・エナジー・カンパニー (Abu Dhabi Future Energy Co.: ADFEC) が推進する再生可能エネルギー利用計画「マスダル」(Masdar) の一環として、同社から薄膜太陽電池製造ライン SunFab™ Thin Film Line を 3 ライン受注したことを発表しました。タンデム接合対応のオプションを追加した場合、ラインの最大生産能力は年間 210 メガワットとなります。これは約 7 万世帯の使用電力を賄える量に相当します。

ADFEC の CEO、スルタン・アル・ジャーベル博士は次のように述べています。「マスダル計画は、今後世界が必要とするエネルギーの 1 つである再生可能エネルギーを推進するためのプロジェクトです。私たちはこの目的を達成するため、最も有望な技術に大規模な資本を投じて再生可能エネルギーの普及加速に努めており、アプライド マテリアルズと協力できることを喜んでいきます」

アプライド マテリアルズの SunFab ラインは、5.7 m²の大型ガラスパネルを使って薄膜シリコン太陽電池モジュールを一貫生産できる唯一の製造設備です。2.2m×2.6m のパネルはユーティリティ規模の発電設備に最適で、小型の薄膜パネルに比べて設置コストを 17%以上節約できます。SunFab ラインは、世界最高の技術力と装置を使って最先端の製造能力を実現するよう設計されています。

アプライド マテリアルズが提供する SunFab ラインのうち、1 ラインはドイツのエルフルトに設置されて 2009 年後半の稼働開始を目指すほか、残る 2 ラインはアラブ首長国連邦の首都アブダビに設置され、2010 年初頭に稼働が見込まれています。これら 3 ラインはいずれもアブダビに建設されるマスダルシティに電力を供給し、CO₂ もゴミも排出しない世界初のゼロカーボンシティを実現する予定です。同市は再生可能エネルギーだけを用いるほか、クリーンなエネルギー源へのグローバル・ニーズを満たす支援も行います。

「ADFEC は世界のエネルギー市場で蓄えた多大なリソースとノウハウを活かし、中東初の大规模な太陽電池製造設備の建設を進めています。太陽エネルギーを利用して電力コスト引き下げを加速する、というアブダビの将来ビジョンの実現に参加できることをうれしく思います」とアプライド マテリアルズのシニアバイスプレジデント兼ジェネラルマネージャー（エナジー&エンバイロメンタル ソリューショングループ）マーク・ピントは話しています。

アプライド マテリアルズは、半導体チップ、フラットパネル、太陽電池、フレキシブルエレクトロニクス、省エネガラスの製造におけるイノベーティブな装置、サービスおよびソフトウェア製品を幅広く提供する Nanomanufacturing Technology™ ソリューションのグローバルリーダーです。アプライド マテリアルズは、人々のライフスタイルを向上させるナノマニュファクチャリングテクノロジーを提供します。

詳しい情報はホームページ：<http://www.appliedmaterials.com> でもご覧いただけます。

このリリースは 5 月 30 日米国においてアプライド マテリアルズが行った英文プレスリリースをアプライド マテリアルズ ジャパン株式会社が翻訳の上、発表するものです。

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:渡辺徹)は 1979 年 10 月に設立。大阪支店ほか 14 のサービスセンターを置き、日本の顧客へのサポート体制を整えています。

このリリースに関する詳しいお問い合わせは下記へ

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社
〒108-8444 港区海岸 3-20-20 ヨコソーレインボータワー
社長室：大橋 百合 (Tel: 03-6812-6801 / Fax: 03-6812-6831)
ホームページ：<http://www.appliedmaterials.com>
